

わかたけ

地域で子どもたち 子そだて応援

33号掲載

すみれ園の卒園児小学1～3年生と地域療育で関わっている乳幼児さんとご家族を対象に、法人内施設児童発達支援センターすみれ園を解放し、活動を実施しました。



砂場で魚釣り



販売会

すみれ園
地域とつながっています

太宰府市 放課後等デイサービス連携会議 「放課後リンク」始動！！

地域の障がいのある子どもたちと一緒に考えようと太宰府市の放課後等デイサービス事業所に集まっていた「放課後リンク」をスタートしました。

まず、第1回目今回は、「すみれ園」の見学から始まり、「この会議で学びたいこと、行きたいこと」をテーマに意見交換を行いました。皆さんと積極的な意見交換を行い、時間が足りないくらいでした。

今後、放課後リンクで、放課後等デイサービスの役割の確認や子どもたちを中心とした支援について、皆さんと共に学び、考えていけるように努めます。また、地域の中で、児童発達支援センターの役割を果たせるように、一歩ずつ取り組んでいきたいと考えております。

支援者向け研修会 (福岡県障がい児等療育支援事業)

35号掲載



○第1回
中村学園大学准教授：重橋 史郎先生
(社会福祉士・臨床心理士)
「集団生活の中で気になる子どもたちへのかかり方について～子どもたちと関わる際に大切にしたいポイント～」
○第2回
NPO法人ことり理事長：今村 亜子先生
(言語聴覚士)
「ことばとコミュニケーションが育つ道のり」

を実施しました。



すみれ園館内見学



積極的な意見交換で白熱していました

～「こども福祉体験会」への思い～

太宰府市社会福祉協議会 地域福祉課 板井 勇児さんに伺いました。

太宰府市社会福祉協議会の単独事業として「こども福祉体験会」がスタートしたのは令和元年のことです。それまで、児童福祉週間の啓発活動や小学校の総合学習の一環として毎年、福祉授業をサポートしてきました。今、教育現場では、発達障がいやグレーゾーンの児童が多く、先生方も指導や接し方、他の児童や周囲に対する理解、協力等に関し、迷いや課題を抱えていると感じます。そこで、授業や勉強だけでは得られない、福祉の体験を通じ、障がい理解につなげられないかと「こども福祉体験会」を始めました。体験会では子どもだけでなく、保護者や学生ボランティアなども参加しますから、子どもを中心に周囲も巻き込みながら「福祉の現場」と触れ合うことができます。この体験会をはじめ多くの経験や体験を積むことにより「障がい」を構えずに捉え、人と人との自然な関りを深めていってほしいと願っています。

「こども福祉体験2023」第3回目になる今年は9月16日(土)午前中に宰府園で開催されました。木工品作り、創作(お花がみを使ったアート作品)、オリジナルポッチャの3班に分かれ、参加した子どもたちと利用者さんたちが交流しました。



みんなで集合写真♪

『編集後記』

今回取材のために利用者さんの仕事を色々見させていただきました。皆さん、誇りをもって働いていて、感心しました。

誇りを持って働くって簡単ではないと思います。楽しそうに働いている人、一生懸命な人、辛そうに働いている人、愚痴や文句ばかり言う人 などなど・・・皆さんの周りはどうですか？

仕事に誇りを持つためには、「自分の仕事の意味や目的を知る」「自主性を持つ」「全力で取り組む」「自信を持つ」などが重要ではないかと思えます。

やはり、誇りをもって働いている人ってかっこいいですね。私も今回の取材した利用者さんのように輝いて働けるようにになりたいと思いました。
(広報委員 羽根田)



参加した子どもたちのフラダンス
上手に踊れるかなあ



オリジナルポッチャで交流を楽しんでいます



さいふ 絵付け



やまもも 南畑まつり販売



ゆり工房 ビーズマスコット作り

誇りをもって 働く



やまもも 焼きこて



ゆり工房 ラスク作り



さいふ 糸のこ作業

目次
2ページ ・ 3ページ 宰府福祉会の就労継続支援B型事業・来年の干支 / 4ページ コミュニティインフォメーション

本号では、宰府福祉会の就労支援について特集を組みました。「アクティビティセンター・コミュニティホールさいふ」(太宰府市)、「やまもも」(那珂川市)、「ゆり工房」(春日市)の3拠点で、就労継続支援B型事業と就労移行支援事業(ゆり工房のみ)を展開しています。日常の作業風景をお伝えするとともに、それぞれの魅力と現在抱えている課題などについても触れています。

平成18年に「自立支援法」、平成25年に「総合支援法」が施行されてから20年近く、障がい者の就労支援は大きく変化しました。世の中自体も変わっています。10月から「インボイス制度」も始まり「ふるさと納税」も厳格化します。時代のうねりの中、就労支援の現場では、工賃をはじめ、作業内容や利用者支援、関係機関との連携等々、課題が山積していると感じます。今回、改めて、日常の作業や支援を振り返る中で、課題解決の糸口や打開策が見えてくることを期待しています。

障害者支援施設 宰府園 施設長
アクティビティセンター・コミュニティホール さいふ 管理者 大内田美津子

さいふ



自分のできることを見つけて挑戦！

宰府園より受け継いできた木工作業を中心に、木工製作を製作しています。玩具から日用雑貨まで幅広く作っています。中でも年始の干支の置物は「さいふ」の看板商品となっており、最近では、レーザー加工による付加価値のついたレーザー木工品も好評を得ています。とは言え、売り上げアップは難しく対面販売だけに頼ることから先の見通しをもった工夫も必要となってきました。洗車やラベル貼りなどの下請、園芸や資源回収、清掃などにも取り組み、作業や活動の変化・改善により、利用者がそれぞれ役割を持ち、「やりがい」を感じてもらえるよう日々、サポートしています。



商品の袋づくり



丁寧に手洗い洗車



レーザー加工（左写真は、組立ペン立てキット）記念品など市町村から多数のご注文をいただいております、ご好評の声をいただいております。



技の継承

宰府園が開設され46年になります。その間、取り組んできた作業技術は一朝一夕では身に着けることが難しい「職人の技」になっています。その技術を受け継いでいくのはなかなか難しく、これからの課題のひとつです。



絵付け作業。商品の表情が決まります



糸鋸作業。様々な形に切っていきます

地域の交流を目指して

地域の夏祭りへ参加したり、公園の草取り交流をしたり、地域の皆さんとの交流を考え、色々な取組をしています。これからも体制を整え、地域の皆さんとの交流を充実していきたいと思えます。



地域の方と「はい、チーズ！」



やまもも



一人ひとりに合わせた作業分担

やまももの就労継続B型では、結婚式などの贈答品の検品・梱包作業や、自動車部品の組み立てなどの下請け作業を主にしています。作業の特色としては、作業の種類や工程が多いことがありますが、一人ひとりの状況に合わせてそれぞれにできることを分担しながら取り組んでいます。



自動車部品のコネクター 決められた場所にコードの端子を差し込みます



商品の箱のシール貼り 端っこだまで丁寧に貼り付けます

コミュニケーションを大切に

現在の課題としては、コロナ禍の影響を受けて、利用者同士のコミュニケーションが減っていることがあります。以前は流れ作業をしながら、作業が進んでいない利用者に気遣いをし声を掛け合いながら作業に取り組むなど、利用者同士のコミュニケーションが活発でしたが、感染予防でパーティションやソーシャルディスタンスをとるようになったことにより、コミュニケーションの機会が減ってしまいました。感染予防も緩和された現在、利用者同士でお互いにカバーし合えるような温かい雰囲気を目指して作業に取り組んでいます。



協力して流れ作業を進めています



「南畑まつり」での販売



一つひとつ丁寧に

生産活動として、パン・焼菓子の製造及び木工品等の製作を行っています。利用者の皆さんは10時の朝礼が終われば早速、作業開始。慣れた手つきで、パンの成形やクッキーの型抜き、包装などを行います。木工やビーズ作業も一つひとつ丁寧に仕上げていきます。



パン作業風景



木工作業風景

各種イベントで大好評♪

利用者の皆さんが真心こめて作った商品は、春日市福祉ぱれっと館内の交流スペースと春日市役所売店「はるひ」で販売しており、その他にも各種イベントで販売しています。

パン・焼菓子はこの数年、品質の向上と安定を目標に取り組み、地域のお客様にご愛顧いただいております。木工やビーズ、さをり商品も夏祭りなどのイベントで大変好評でした。



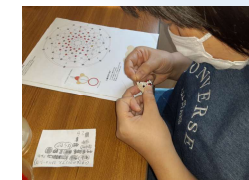
ピザパン作り



型抜き

やりがいや働く喜びを実感できるように

しかし昨今の光熱費、食材や資材の高騰は著しく、収益を上げるのに大変苦慮しています。収益は利用者の皆さんへ、毎月の作業工賃として還元されます。これからも地域の皆様に喜んでいただける商品づくりを利用者の皆さんとともにいながら、やりがいや働く喜びを実感できるよう支援していきたいと思えます。



ビーズマスコット作り



ビーズの指輪 完成！



来年の干支

予約開始

お気軽に お問合せ下さい

宰府園・さいふ



龍は、権力やパワーの象徴とされ、縁起が良い存在として知られています。昇り龍は運気を上昇させ、降り龍は幸福を届けるとされます。利用者の皆さんと真心を込めて作りましたので、是非お買い求め下さい！
【500円、5色セット2,500円】
(いずれも税込)

障害者支援施設 宰府園
☎ (092) 925-7200
アクティビティセンター・コミュニティホール
さいふ
☎ (092) 403-0933

やまもも



ひとつひとつ表情が違うのが、手作りの良さです。地域の販売会にも出店予定なので、是非お手に取って、お気に入りのひとつを見つけてみてはいかがでしょうか。
【330円(税込)】

障害福祉サービス事業所
やまもも
☎ (092) 951-2075

ゆり工房



龍は空想上の生き物、空想を膨らませて、膨らませて可愛く仕上げました。「ととのう」という意味があるそうで、皆さんの1年がより良く整うよう、祈りを込めて作製しました。

【1,320円(税込)】
障害者就労支援センター
ゆり工房
☎ (092) 575-2223